

授業づくりのポイント

- 地域安全マップ作りでは、危険な場所について指摘するだけでなく、「どうすれば安全になるか」を考えさせることで、危険を回避し、安全・安心なまちづくりを目指すことができるようにする。
- 地域の方々を招いて対話することで、地域の一員として安全・安心なまちづくりを目指す意識を高める。

単元（題材）について

1 単元名 「地域安全マップを作ろう」

2 目標

I-4 地域や社会生活での安全

地域・社会で起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動できるようにするとともに、安全・安心なまちづくりを目指す。

3 教材化の視点

児童は、これまでに避難訓練や社会科の「安全なくらし」の学習を通して、身近で起こる災害や事故の事実を知り、自分の身を守るためにどのようなことに気を付けるべきか、ある程度理解してきている。また、地域探検を通して、「子ども110番」の家や防犯カメラを地域で設置しているなど、地域の方々の安全への願いも知ることができた。

このような学習を生かし、今後は、自分たちの安全だけでなく地域社会全体の安全を考え、みんなでより良い安心・安全なまちづくりをしていこうという地域社会の一員としての自覚をもち、行動に移していくことを目指す。

指導計画（10時間扱い）

時間	○主な学習活動	◎安全教育の視点に立った留意点
1	○地域の危険な場所とは、どんな場所なのかを考え、話し合う。	◎地域の家が並ぶ道路等を写真で提示し、地域の危険な場所を想起しやすくする。
2	○地域安全マップを作る計画を立てる。	◎調査の仕方やフィールドワークのきまりについて確認する。
3	○1回目のフィールドワークを行い、危険な場所を調査する。	◎「入りやすく・見えにくい」を基準に調査させ、メモ、写真撮影、インタビューをさせる。
4・5	○フィールドワークの成果を見やすく分かりやすく地域安全マップにまとめる。	◎地図の作製例を提示し、地域安全マップの作り方を理解させる。
6	○地域安全マップをもとに気付いたことを話し合う。	◎対話を通して気づきを共有し、新たな気づきや疑問がもてるようにする。
7	○2回目のフィールドワークを行い、危険な場所を調査する。	◎1回目で気付かなかった場所や安全にするための対策を中心に考えさせる。
8	○フィールドワークの成果を地域安全マップに付け足す。	◎1回目の気づきを書いたカードとは異なる色で付け足し、視覚的に気づきの変容を捉えられるようにする。
9	○新たな気づきを話し合う。	◎学びの成果を共有し、地域に発信しようとする意識がもてるようにする。
10 (本時)	○外部の方々を招いて対話し、成果を安全・安心なまちづくりのためにどのように活かすかを考える。	◎地域の方々と対話を通し、地域の一員として安全・安心なまちづくりを目指すようにする。


事後指導 地域安全マップを全校児童や保護者に発表したり、地域の掲示版に掲示したりして、全校児童や地域、保護者等と地域の安全について考えられるようにする。

指導事例（第10時／10時間）

1 ねらい

地域安全マップ作りの成果を発表し、地域の町会長や保護者、PTAの校外の方々との対話を通し、安全・安心なまちづくりのために活かせることを考える。

2 指導の実際

	○主な学習活動	◎支援・留意点 ■評価（評価方法）
導入	○前時の地域安全マップ作りの成果を振り返り、共有する。 ○本時の学習内容とめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 地域安全マップを発表し、地域や保護者の方々と対話することで、安心・安全なまちづくりのために活かせることを考えよう。 </div>	◎短冊にまとめた前時のポイントを板書に掲示し、振り返りをしやすくする。
展開	○対話のときに発表したい自分の考えをワークシートに整理する。 ○エリアごとに発表しながら、地域や保護者の方々と対話をする。 <対話の視点> ・危険箇所や安全への留意点 ・安全・安心な町づくりをするための、自分たちの行動目標 ○対話を通して、危険箇所を再確認し、注意すべきことを知る。 ○対話を通して、自分たちにできそうなことを考える。 	◎自分で考えられない児童には、机間指導をしながら前回のワークシートの内容を価値付け、どのようにすると安心・安全になれるかを一緒に考える。 （補足：地域マップは、児童の居住エリアごとにグループとして分け、調べさせている。） ◎児童がハンドサインを用いながら、みんなで考えをつなぎ、深めていけるように、視点や要点を整理しながらコーディネートする。 ◎地域の方々にも考えを聞くことで、地域の方々の願いや児童だけでは気付かなかった注意すべきことも知ることができるようにする。 ◎4年生として、自分たちにできそうなことは何かを考えさせる。 ◎対話しながら成果を共有させ、安心・安全なまちづくりのためにできそうなことについて意識を高めさせる。 ■安全・安心なまちづくりをしていく上で活かせることを考えることができる。（ワークシート）
まとめ	○本時の内容及び題材全体を振り返り、学んだことや今後意識していくことなどを発表する。	◎振り返りの視点を明確にし、考えを書きやすくする。 ◎本時までのワークシートや教室掲示も参考にさせる。

児童の感想

・地域の安全・安心のためにみんなで協力していくことが大切だと分かりました。協力して安全な町をつくるために、自分たちにできることを今から始めたい。

児童の変容

・自分たちで地域の危険な箇所を見付け、改善策を考え、それを地域の方々に発信したり、地域の方々のお話を聞いたりしたことで、地域の一員として共に安全・安心な町づくりをしていこうという考えがもてるようになった。
 ・危険な箇所を知るだけでなく、それを回避するためにはどのように行動したらよいか自分で考えるようになり、安全についての意識が高まった。